

CL季刊誌講読所感

C. S.



●生活の発見会-感想文集

『過去は変える事は出来ないが、解釈は変えられる』

過去は憲法みたいなものでしょうか。解釈でどうにでも扱える。個人的には現行憲法は大事にしたいです。過去も扱い方で上手く調理できそうですね。過去の辛い記憶が蘇ったら、活性化のための『脳のシャッフルの時間』とか『箸休め』とでも思いませんか。

●百人一首とCL

『常に私の家はきちんとしている 実はほとんど誰も来ないが、家をだいじにする』

『家を大事にする』という観点に気付かされました。ガス代と水道代の節約の為の道具も結構場所をとっています。まだまだ使わない物を処分する必要があります。帰宅するとわ〜っと散らかります。手順の吟味も必要です。

●ウォーキングで若さにふれる

『ユーモラスな光景』の中で自転車に乗った若い女性が『風船が自転車を漕いでいるよう。イメージ浮かび上がりました?』と問い掛けられましたので。

ハイッ! 浮かびました! ブルーの爽やかな風船が駆け抜けた清々しい朝ですね。

GW頃から、5件の戸建ての貸家の建築が始まりました。7月に完成し、かなり賃料の高そうな貸家ですがこれからどういう方々が入居するのか、「年取るということ日誌から」をお手本に観察させて頂くつもりです。

●散歩

この春から散歩を始めました。北上川沿いの1時間のコースのはずが最近では50分で帰宅できるようになりました。きっと小木晴代さんが『CL課題と脳科学』の中で『毎日20~30分を早歩きで散歩する』と書いて下さったので、早歩きで30分間を心掛けるようになったためです。

新人なのですれ違う人には挨拶します。1割の人は先に挨拶をして下さいます。丁寧で腰の低い『おはようございます』に聞こえるように注意しています。1割の人は挨拶を返して下さいませんが平気です。すれ違う人がいるという事実を認めて挨拶をさせて頂いているのですから。相手の行動はコントロールできないのですし。私の印象が悪くて挨拶を返して貰えないのだとしても責任は半々のことだと思いますから、『私のことキライなのかしら?』等と余計なことは考えないで済みます。

ウォーキングの達人のような女性も挨拶を返して下さいませんでしたのですが、3ヶ月間挨拶を続けると笑顔で返して下さいようになりました。外見とは異なりとても可愛い声でした。

●ありがとうを伝えたから

(1)10年前より、全国的に反貧困の活動をされているグループの季刊誌を定期購読しております。先月のこと、そのグループから定価2,200円の書籍が届きました。定期購読者に、在庫の書籍をプレゼントするということでした。

頂いたからにはお礼の「ありがとう」を伝えなくては。季刊誌に同封されている読書カードのハガキに、書籍のお礼と記事の感想を書いて投函すると、3日後に電話のベルが鳴りました。そのグループで役員をされている盛岡市在住のNさんからでした。

去年の秋に盛岡市に引っ越し市役所に手続きに行った帰りにNさんのお勤め先に寄らせて頂いたのですが、転職されていて会えなかったのです。東京で読書カードのハガキを受け取った編集の方が直ぐに『盛岡の人から読書カードが届きました』とNさんに電話をされたそうです。それでNさんも直ぐに私に電話を下さったという訳でした。

『ありがとう』を伝えただけで、事実から大きなプレゼントを頂きました。

Nさんと知り合いになれたのも『ありがとう』を伝えたからでした。10年前に、Nさんが貧しい人達の側の証人として行政裁判で証言されたことを知りました。同じ県内になんて立派な方がいらっしゃるのだろうと驚き、感激し、尊敬しました。

その後、季刊誌にNさんの電話番号が掲載されていました。新人公務員さんの疑問・悩みに、先輩の公務員のNさんが答える為のコーナーでした。公務員ではない私ですが直ぐにNさんにSMSを送り、行政裁判で貧困層側の証人となって下さったことのお礼を書きました。私はその裁判の当事者ではありませんが、近い立場の者としてお礼を伝えずにはいられませんでした。直ぐに返信を下さり、3度SMSを往復しただけの知り合い関係でしたが、Nさんは私のことを覚えて下さっていたのでした。とても有難いことです。『ありがとう』の偉力ですね。

(2)私のどこを取っても少数派です。障がいも新しい病気なので名前すら余り知られていません。反貧困の会の当事者会員ですがこちらも少数派です。お金持ちは大事にされますが、貧困層に優しい政治家は殆どいません。ところが、私が会員の患者の会にも、反貧困の会のどちらにも関わって下さる女性議員さんがおひとりいらっしゃいます。その議員さんが選挙期間中に近くに街頭演説に来られると知り『ありがとう』をお伝えしなくては！と出向きました。後から振り返ると通常は「がんばって下さい！」とか「応援しています」と言う場所だったのかもしれませんが。街頭演説の後、女性議員さんに必死に『ありがとう』を伝えました。

女性議員さんは、その日のTwitterに私のことを書いて下さりました。外出困難な病気なのに『よく来て下さいました！』と。病名も書いて下さったので啓蒙活動ともなり、少しは社会貢献の真似事になったかな。(岩手県盛岡市)



北上川沿いの散歩道